



## NPO PTPL “ともいき” 便り No.142

平成30年（2018年）3月6日発行

### ■啓蟄（けいちつ） 平成30年3月6日から3月20日までの節気

「啓蟄」の節気です。「啓蟄」の「啓」は開く、「啓蟄」の「蟄」は虫が冬ごもりをするという意味です。「冬のあいだ土の中に巣ごもりしていた虫たちが目ざめて活動を始める時季」です。

今冬は例年になく厳しい寒さが続きましたが、3月に入り、日も長くなり、日射しもだんだん強くなり、やっと春の訪れを感じる今日この頃です。

「啓蟄」の節気期間中、奈良では春の訪れを感じさせる行事が行われます。

・3月12日（月）、東大寺二月堂で「お水取り」が行われます。この日は本尊に供える霊水で若狭井（わかさい）から汲み取る「お水取り」と、僧が二月堂の回廊で大松明（全長6メートルほどの巨大なもの）を振り回す「おたいまつ」が行われます。火粉をかぶると幸せになれるとされ、毎年、多くの人々で賑わいます。

・翌日の3月13日（火）、春日大社で「春日祭」が行われます。大社祭は藤原氏の栄華を反映して盛大に行われ、朝廷からは勅使が遣わされて、京都の葵祭、石清水祭とともに三勅祭（さんちょくさい）といわれました。祭りでは古式を伝える数々の雅な神事が行われます。

古都奈良を訪ね、連日行われるこの二つの祭りを見ながら一足早い春の訪れを感じてみたいですね。

3月18日（日）から3月24日（土）の間は、「春の彼岸」です。「暑さ寒さも彼岸まで」といわれるように、気候の良いこの頃、此岸（しがん、現世）から、仏の世界である彼岸（ひがん、来世）に極楽往生することを祈願します。この期間中は、多くの人々が墓参りに出かけご先祖様とゆっくりと語り合うことでしょう。

春の彼岸の頃には「こぶし」や「もくれん」が咲き、桜の開花も間近になり、春

の気がみなぎってくる時季です。今年の桜前線の動向も気になります。

平昌オリンピックも大会前にはいろいろと問題ありそうだと取り沙汰されましたが、日本人選手の活躍で多くの国民が感動に包まれ、あっという間に終了しました。今回じっくりとカーリングを見ていましたが、彼女たちの試合中にもかかわらず笑顔で戦っている姿とチームワークは日本人向きといえるでしょう。「そだね～」もかわいかったですね。最後に日本人選手全てにお疲れさま、そして感動をありがとう、と伝えたい気持ちで一杯です。

3月9日（金）から3月18日（日）の10日間、パラリンピックが開催されます。ここ数年パラリンピックにも注目と関心が高まっています。とてもいいことだと思います。ハンディキャップを持ちながらも、健常者にも劣らず、いやそれ以上、限界にチャレンジする姿はオリンピックとは違った感動を呼びます。パラリンピックでも日本選手の活躍を期待しながら、テレビで応援です。

春を感じるといえば、「菜の花」があげられます。「菜の花」は春の季語でもあります。一面の菜の花畑は、春の房総地方の風物詩となっていますが、最近では観賞用に、土手や河原に蒔いて花季（はなどき）を楽しむところも増えているようです。

辛子和えやお浸し、塩漬けなどにしたつまみで、一杯やるのもこの時季の楽しみのひとつですね。

佐藤 誠（NPO PLANT A TREE PLANT LOVE事務局）

■ともいき・ともうみ・ともさち、そして和。それは日本的なるもの「ジャパネスク」

●「HEAVENESE」のコンサートに行ってみよう。

2月17日（土）、羽田空港国際線ターミナルにある「スカイホール」で行われた「HEAVENESE」のコンサートに行ってきました。2時間の生演奏と舞台を見て、「HEAVENESE」のコンサートそれ自体が「日本の本質、日本のアイデンティティ」を探る舞台構成になっていて、とても楽しめました。（特に、洋楽器と和楽器が一体となって作りだす和洋折衷の生の音は私にとってとても新

鮮でした。)

「HEAVENESE」のコンサートは、NPO PTPL が提唱する「ジャパネスク」そのものであり、深く感動しました。

これからも「HEAVENESE」と力を合わせ、ジャパネスク運動の輪を広げていこうと再確認しました。

皆さまにも、ジャパネスク運動にご理解をいただき、一緒になってこの輪を広げていきましょう!!

マレさん、クミコさん、そして「HEAVENESE」のメンバーの皆さん、ありがとう、そして頑張り!!

「HEAVENESE」のサイト：[http://heavenese.jp/index\\_j.html](http://heavenese.jp/index_j.html)

### ● 「お世話さま」「お疲れさま」「お互いさま」文化の危機?!!

日本には共に幸せに生きる「ともさち」というジャパネスク文化があり、その共同体意識がこの社会を強く支えていたように感じます。

しかし、昨今、自分だけ良ければ良いというような利己主義が幅を利かせ、効率優先の目先の利益を追いかける風潮が目立っています。

「お世話さま」「お疲れさま」「お互いさま」などのあいさつ言葉が飛び交う街づくりが大切だと考えますが……。

ジャパネスク文化を大切にしたいですね!!

## 日本 2018 ジャパネスク

あなたと日本の話をしてみたい。

勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■事務局便り

- 3月に入り、やっと春の萌しが少しずつ現れてきました。今冬の厳しい寒さが応え、春の到来をいつもよりもずっと望んでいます。もうあと3週間もすると桜の便りが南から届いてきます。サクラ前線北上という現象は南北に長い日本ならではのものでしょう。桜前線の移動の模様を宇宙から見てみたいのですが……。そういう映像をご存知ですか？

- 是非、NPO PTPL が企画制作運営するサイト・FB をご覧ください。

「NPO PTPL 公式ホームページ」：<http://www.plantatree.gr.jp/>

「ジャパネスク」：<http://www.japanesque.tokyo/>

「ともいき暦」：<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2016/>

「ともいき ぐらし」：<https://www.facebook.com/tomoikigurashi>

「おらが富士 計画 ふるさと富士山探し」

<https://www.facebook.com/oragafuji/>

「不思議・驚き・魅力のジャパネスク」

<https://www.facebook.com/japanesque.tokyo/>

- 会員募集のご案内

NPO 活動（ジャパネスク運動）を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPL では、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。お力添えのほど、どうぞよろしく申し上げます。

詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAX にてお尋ねください。

NPO PLANT A TREE PALNT LOVE 事務局

〒141-0022 東京都品川区東五反田 2-7-11 東都ビル 201 号

電話：03-6432-5911 FAX：03-6432-5912

Email：info@ptpl.or.jp